

平成 23 酒造年度における清酒の製造状況等について

国税庁では、清酒製造業の健全な発達に資するために清酒の製造状況等の調査を行っています。調査の結果は国税庁の酒税行政を実施する上での基礎情報としているほか、清酒製造業者にも清酒の製造管理上の指標として活用されています。平成 23 酒造年度（平成 23 年 7 月 1 日～平成 24 年 6 月 30 日）における清酒の製造状況等については、別表「平成 23 酒造年度清酒製造状況等」のとおりです。

1 清酒の製造場数

平成 23 酒造年度において清酒を製造した場数は 1,260 場で、前年度から 12 場減少しています。

清酒のタイプ別の製造場数は、特定名称の清酒においては、純米酒 1,031 場（前年度 1,018 場）、純米吟醸酒 1,065 場（同 1,072 場）、吟醸酒 952 場（同 964 場）、本醸造酒 926 場（同 937 場）であり、特定名称以外の清酒は 958 場（同 962 場）です。

これらの全体の製造場に占める割合は、純米酒 81.8%（前年度 80.0%）、純米吟醸酒 84.5%（同 84.3%）、吟醸酒 75.6%（同 75.8%）、本醸造酒 73.5%（同 73.7%）、特定名称以外の清酒 76.0%（同 75.6%）となっています。

（注）特定名称の清酒とは、清酒の製法品質表示基準（平成元年 11 月国税庁告示第 8 号）に定める純米酒、純米吟醸酒、吟醸酒及び本醸造酒のことをいいます。

2 清酒の製造数量

平成 23 酒造年度における清酒の製造数量（アルコール分 20 度換算数量。以下同じ。）は、449,171kl（前年度比 102.2%）です。その内、特定名称の清酒の製造数量は、142,875kl（同 103.7%）となっています。

特定名称の清酒のタイプ別の製造数量を前年度と比較すると、純米酒は前年度比 103.8%、純米吟醸酒は同 110.2%、吟醸酒は同 115.9%、本醸造酒は同 96.2%です。

清酒のタイプ別の製造数量の推移は表 1 及び図 1 のとおりです。

3 原料米の使用数量等

平成 23 酒造年度における清酒用原料米は、玄米としては 237,791t（前年度比 102.3%）、白米（米粉含む）としては 160,801t（同 102.1%）が使用されています。原料米使用数量の推移は表 2 及び図 2 のとおりです。

精米歩合は 66.9%（前年度 67.1%）で、その推移は表 3 及び図 3 のとおりです。

（注）精米歩合とは、玄米からぬか、胚芽等の表層部を取り去った状態の米の、その玄米に対する重量の割合のことをいいます。

4 原料用アルコールの使用数量

平成 23 酒造年度の清酒製造に使用された原料用アルコールの数量（アルコール分 100 度換算）は 28,902k1（前年度比 101.0%）で、白米 1 t 当たりに換算すると 179.7 l（同 99.0%）となります。原料用アルコールの使用数量の推移は表 4 及び図 4 のとおりです。

表1 清酒のタイプ別製造数量（アルコール分20度換算）の推移

タイプ	酒造年度	19	20	21	22	23	前年度比
							%
純米酒		k1 (9.9) 49,844	k1 (10.0) 49,248	k1 (10.2) 47,882	k1 (10.4) 45,512	k1 (10.5) 47,259	103.8
純米吟醸酒		(5.4) 26,950	(5.7) 28,041	(5.5) 25,703	(5.7) 25,211	(6.2) 27,772	110.2
吟醸酒		(4.2) 20,946	(4.4) 21,691	(3.9) 18,303	(3.8) 16,544	(4.3) 19,179	115.9
本醸造酒		(13.2) 66,188	(11.6) 57,094	(11.9) 55,942	(11.5) 50,565	(10.8) 48,666	96.2
(特定名称の清酒) 小計		(32.6) 163,928	(31.6) 156,074	(31.5) 147,829	(31.4) 137,833	(31.8) 142,875	103.7
特定名称 以外の清酒		(67.4) 338,593	(68.4) 337,562	(68.5) 321,549	(68.6) 301,818	(68.2) 306,296	101.5
合計		(100.0) 502,521	(100.0) 493,636	(100.0) 469,378	(100.0) 439,651	(100.0) 449,171	102.2

(注) 1. () 書は、構成比(%)です。
2. 集計値の端数処理の関係で、各値の合計が合計値と異なる場合があります。

図1 清酒のタイプ別製造数量の推移

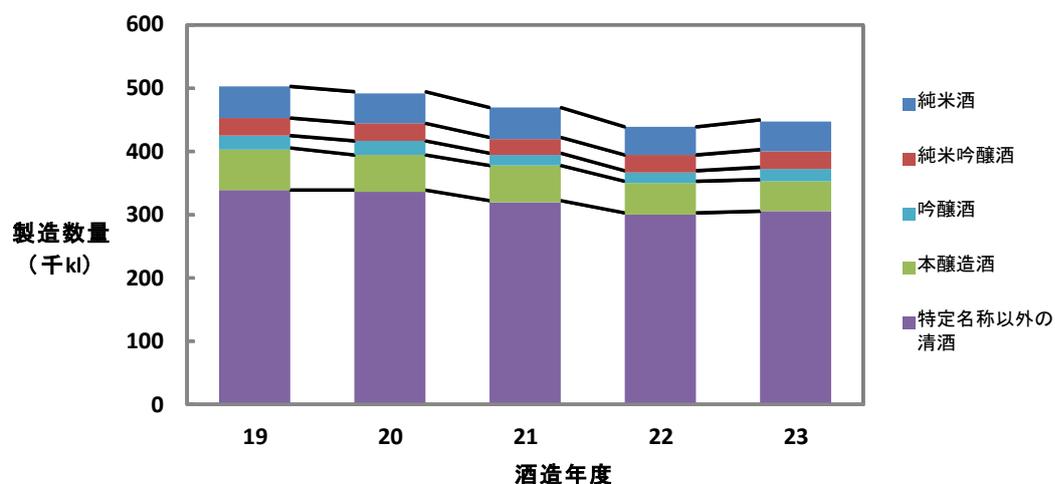


表2 原料米使用数量の推移

区 分	酒造年度					前年度比
	19	20	21	22	23	
玄 米	t 270,363	t 260,715	t 245,742	t 232,421	t 237,791	% 102.3
白 米	182,366	176,958	167,042	157,521	160,801	102.1

図2 原料米使用数量の推移

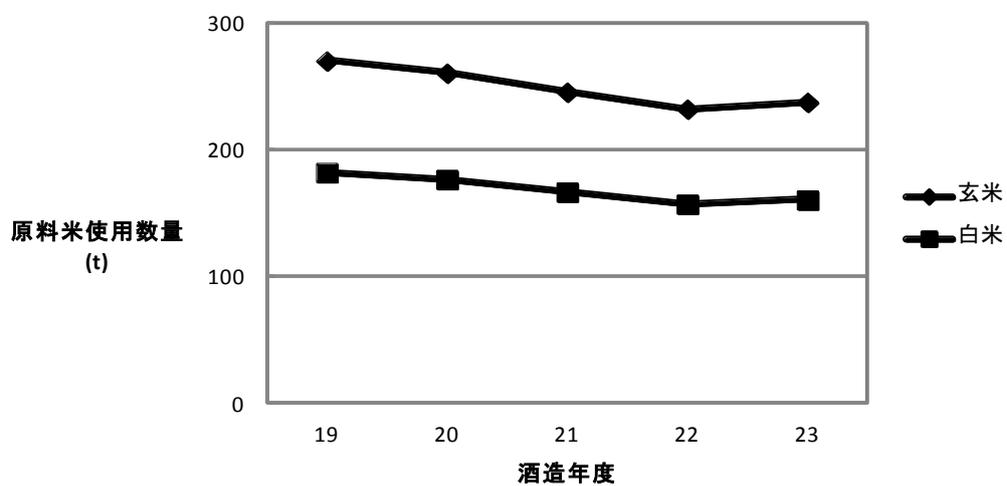


表3 精米歩合の推移

区 分	酒造年度				
	19	20	21	22	23
純 米 酒	65.6 %	65.7 %	65.9 %	65.9 %	65.5 %
純米吟醸酒	51.7	51.9	51.9	51.7	51.7
吟 醸 酒	50.5	50.4	50.3	50.1	50.6
本 醸 造 酒	64.8	65.4	64.9	64.6	65.1
特定名称以外の清酒	72.6	72.9	73.5	73.6	73.7
合 計	66.6	66.8	67.2	67.1	66.9

図3 精米歩合の推移

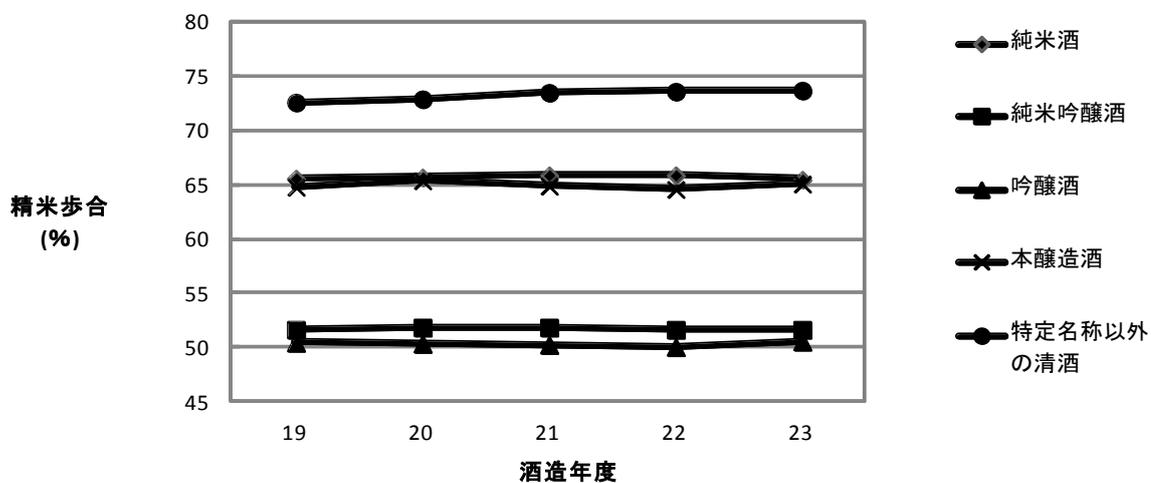
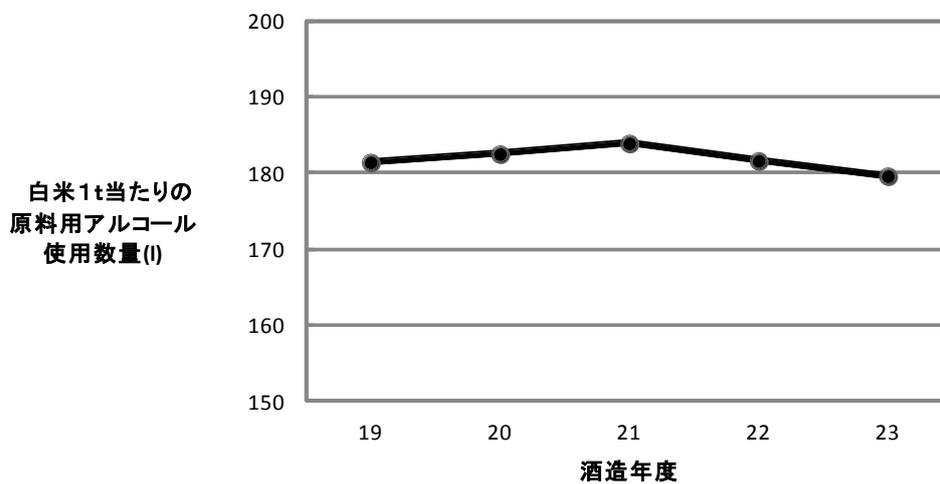


表4 原料用アルコールの使用数量（アルコール分100度換算）の推移

区分	酒造年度					前年度比
	19	20	21	22	23	
使用数量	k1 33,093	k1 32,307	k1 30,730	k1 28,614	k1 28,902	% 101.0
白米1t当たり 使用数量	l 181.5	l 182.6	l 184.0	l 181.7	l 179.7	% 99.0

図4 白米1t当たりの原料用アルコール使用数量の推移



別表

平成23酒造年度清酒製造状況等

区分	製造場数	製成清酒					製成かす	使用原料			
		実数	純アルコール数量	平均アルコール分	日本酒度合計	平均日本酒度	実数	米		アルコール又はしょうちゆう	
								(玄米)	白米	(純アルコール数量)	白米1tあたり
純米酒	1,031	51,993	9,452	18.2	82,138	1.6	6,789	37,447	24,537	—	—
純米吟醸酒	1,065	31,582	5,554	17.6	66,549	2.1	5,364	29,221	15,098	—	—
吟醸酒	952	20,311	3,836	18.9	85,767	4.2	3,197	16,917	8,554	846	98.9
本醸造酒	926	49,266	9,733	19.8	169,437	3.4	5,788	31,120	20,254	2,280	112.6
特定名称以外の清酒	958	297,758	61,259	20.6	375,760	1.3	19,158	123,085	92,359	25,776	279.1
全体	1,260	450,909	89,834	19.9	779,651	1.7	40,296	237,791	160,801	28,902	179.7

区分	使用原料									各種歩合	
	糖類		酸類				清酒かす	清酒実数	純アルコール数量	精米歩合	かす歩合
	ぶどう糖	水あめ	乳酸	こはく酸	くえん酸	りんご酸					
純米酒	—	—	—	—	—	—	—	—	—	65.5	27.7
純米吟醸酒	—	—	—	—	—	—	—	—	—	51.7	35.5
吟醸酒	—	—	—	—	—	—	—	—	—	50.6	37.4
本醸造酒	—	—	—	—	—	—	—	—	—	65.1	28.6
特定名称以外の清酒	1,589,866	3,768,720	16,107	13,407	3,240	768	25	181	11	73.7	20.7
全体	1,589,866	3,768,720	16,107	13,407	3,240	768	25	181	11	66.9	25.0

- (注) 1. 集計値の端数処理の関係で、各値の合計が合計値と異なる場合があります。
2. 純アルコール数量とは、製成清酒(実数)に含まれるアルコール分(100度換算)の数量をいいます。
3. 日本酒度とは清酒の比重を表す指標です。
4. 「日本酒度合計」は、日本酒度×製成数量(1)の累計です。
5. 精米歩合とは、玄米からぬか、胚芽等の表層部を取り去った状態の米の、その玄米に対する重量の割合をいいます。